

概 要

保育サービスの需給・待機の状況(平成12年4月1日)

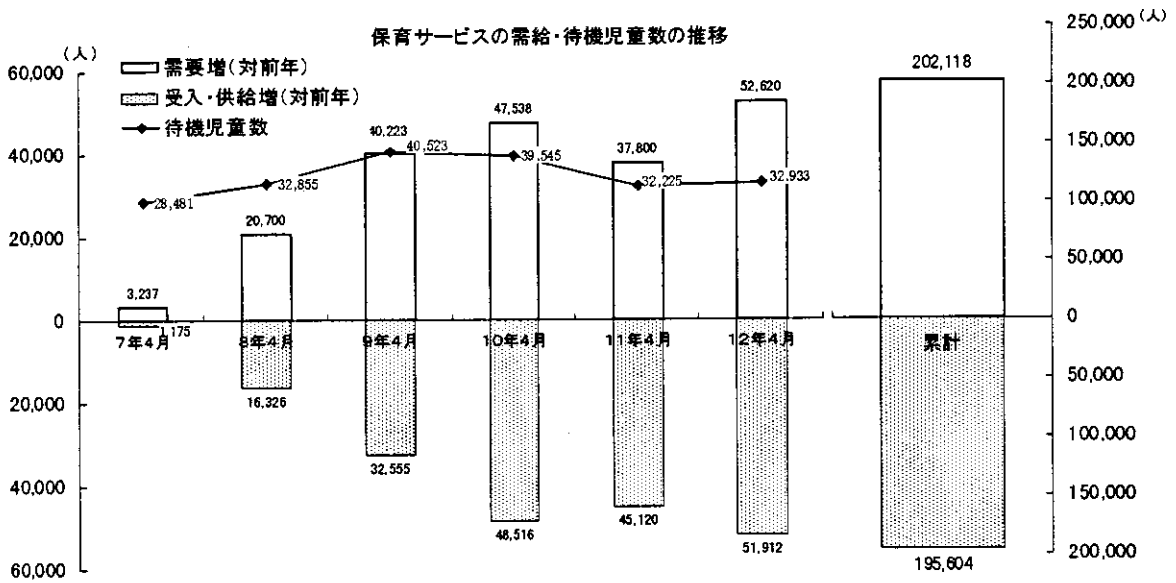
1. 保育所利用児童数

平成12年4月1日の保育所利用児童数は、178万8千人
 これは、前年同日(173万6千人)から5万2千人(3.0%)増

2. 待機児童数

平成12年4月1日の待機児童数は、**3万3千人**
 これは、前年同日(3万2千人)から7百人(2.2%)増

前回(平成11年4月1日現在)調査に関しては、一部の地方公共団体から、待機児童数から追加受入可能児童数(一部の保育所での定員と現員との差)を引いた数を「待機児童数」として報告があり、これをもとに全体集計。今回の調査ではそれを是正。
 この差異がないならば、待機児童数は、前年同日から1百人(0.4%)の増。



3. 待機児童の地域的状況

都市部に待機児童が比較的多く、首都圏(埼玉、東京、神奈川)、近畿圏(大阪、兵庫)の5都府県(政令指定都市・中核市含む)で見ると、全待機児童の62.0%に当たる2万419人の待機児童がいる。

4. 0歳児の年度途中の入所の状況(11年4月-12年3月)

産休明けや育休明け等に対応した0歳児の年度途中の入所は、全国的には相当な割合(4月-3月の0歳児の入所児童数対比は181.3%)
 しかし、110%台という低水準の地域もある。

[地方公共団体の状況(例)]

【栃木市(栃木県)】(待機児童数89位→解消)

定員750人(+50人)、入所児童806人(+83人)、待機児童0人(△84人) ※かつ内は対前年比増減

○余裕教室を活用した分園の整備等により待機児童を完全解消

少子化対策臨時特例交付金(以下、「交付金」という)により、小学校の余裕教室を活用した保育所の分園(定員規模20人)の整備及び民営保育所の増改築(定員30人増)を実施し、また、各保育所の4月の入所希望状況に合わせた、新たな公営保育所への臨時の保育士の配置、定員の弾力化の実施等により、待機児童を解消。

【相模原市(神奈川県)】(待機児童数12位→24位へ改善)

定員5,787人(+368人)、入所児童5,915人(+406人)、待機児童299人(△185人)

○駅前保育所(分園)の整備等により待機児童185人減

交付金により、駅近くの利便性の良い場所に保育所の分園(2か所、定員規模各29人)を設置し、また、民営保育所の創設(2か所、定員210人)、既存施設の定員増等により、合計406人(前年比)の定員増を行い、待機児童数185人の減。

【那覇市(沖縄県)】(待機児童数21位→42位へ改善)

定員4,233人(+270人)、入所児童4,351人(+450人)、待機児童204人(△139人)

○夜間保育所の創設、民営保育所の増築等により待機児童139人減

夜間の保育需要に対応するため夜間保育所(定員30人)を創設し、また、交付金による民営保育所の増築(11か所、定員235人増)等により、合計270人(前年比)の定員増を行い、待機児童数139人の減。

【横浜市】(待機児童数1位→2位へ改善)

定員22,312人(+794人)、入所児童21,822人(+975人)、待機児童1,535人(△94人)

○横浜保育室(市単独事業)の認可保育所化等により、大幅な受入・供給の増

横浜保育室の認可保育所化(2か所、定員160人)、民営保育所の創設(4か所、定員360人)、既存保育所の増築等により、合計794人の定員増、児童数で975人の受入・供給増を図ったが、大幅な需要増により、待機児童数の減は94人に止まる。

今後の需要増に対応し、待機解消を図るため、交付金(12年度基金)により、民営保育所の創設(14か所、定員930人)、既存施設の増築(5か所、定員170人増)を実施予定。

【福岡市】(待機児童数41位→10位)

定員21,285人(+210人)、入所児童21,951人(+1,046人)、待機児童459人(+270人)

○大幅な受入・供給増を図るが、それを上回る新たな需要増により、待機児童数270人の増

10年4月に定員240人増、11年に定員1,250人増、12年においても交付金による既存施設の増築等により、定員210人増と、毎年定員増を行っており、受入・供給も1,046人(前年比)と大幅な増を図るが、それを更に上回る新たな需要増により、待機児童数は270人の増。

<参考>

待機児童数の多い市区町村

①全年齢児の待機児童数の多い市区町村

順位	市区町村	待機児童数	前年	順位	市区町村	待機児童数	前年
1	大阪市	1,991人	3	6	神戸市	679人	9
2	横浜市	1,535人	1	7	仙台市	588人	10
3	足立区(東京都)	911人	4	8	京都市	533人	8
4	川崎市	866人	2	9	名古屋市	496人	5
5	堺市(大阪府)	857人	6	10	福岡市	459人	41

①のうち0～2歳児の待機児童数の多い市区町村

順位	市区町村	待機児童数	前年	順位	市区町村	待機児童数	前年
1	大阪市	1,538人	2	6	神戸市	442人	11
2	横浜市	993人	1	7	名古屋市	388人	5
3	足立区(東京都)	669人	4	8	世田谷区(東京都)	387人	8
4	堺市(大阪府)	589人	6	9	仙台市	349人	12
5	川崎市	552人	3	10	江戸川区(東京都)	324人	7